

令和6年度 第1回 岡山市障害者自立支援協議会 運営会議

日時：令和6年4月23日（火）9：30～

場所：岡山ふれあいセンター 第1研修室

1. 開会あいさつ

（協議会会長 村下氏）

新年度お忙しい中ありがとうございます。今年度1年間、協議会が活発にいくようご協力をお願いします。

（岡山市障害福祉課 中西課長）

4月から障害福祉課長を拝命いたしました。前任者から、地域の課題を建設的にこの場では協議していると聞いている。報酬改定や法改正など大きな動きの中での課題や検討することがあると思うが、この場の中で一步一步進めていきましょう。

2. 各機関自己紹介

（省略）

3. 活動報告

（1）東部地域部会（第2水曜AM） 4月10日実施

ア. メンバー紹介

イ. 基幹相談支援センターから就労継続支援A型の問題（以下、A型問題）に関する情報提供および事業所間での状況共有

ウ. 今年度の部会活動スケジュールの確認

研修関連：報酬改定研修、災害対策、個別避難計画、BCPなど

エ. 地域移行ワーキンググループ（定例会：第3木曜日午前）

- ・入所施設向けの地域移行アンケート（令和5年度）の実施結果
- ・高齢入所者への対応および施設側の不安などの把握
- ・地域移行先（例：グループホーム 以下、GH）の支援力向上の必要性について
- ・令和6年度の取組み：支援力向上に対する取組み、個別ケースの支援方法の共有

（2）中央・北地域部会（第3木曜日PM）

ア. 2月実施内容

- ・令和5年度の振り返り

イ. 3月実施内容

- ・BCPの策定義務化に向けた情報交換（自然災害・コロナ感染症）

(各相談支援事業所のBCP策定状況)

- ・全体的には着手できていない
- ・法人によって差がある 事業所と運営母体とのすり合わせが必要
- ・一人相談支援事業所は作成内容に戸惑いを感じている

ウ. 4月実施内容：A型問題に関する情報交換

- ・例：自己都合退職を強要される事例など

エ. 地域移行ワーキンググループ

- ・居住支援に関して（1月26日）
- ・令和5年度の振り返り（3月28日）

(3) 南西地域部会（第2・4金曜日AM）

ア. ケースレビューから見た地域の問題

・市内の地域活動支援センターII型が5か所減少のため、身体障害や精神障害がある方の入浴支援を受ける場所がない

・特別支援学校在学時に職業センターでの職業評価（重度判定）を受ける方がいるが、卒後の活用方法の説明が不十分で、評価を受ける理由を把握していない利用者と保護者がいる（以下、重度判定問題）

・地域の小学校の生徒の件で、相談支援専門員が学校に問い合わせをした際、個人情報も理由に共有を断られた

イ. 日中支援型GHの評価（2月16日実施）

- ・相談支援事業所：参加者17名
- ・対象事業所：日中支援型ソーシャルインクル
- ・事業所概要：利用者数：19名 障害支援区分：平均4 強度行動障害あり：6名
外部の日中活動利用：17名 相談支援事業所は複数
- ・事業所の苦悩：地域との交流の進め方、相談支援事業所との連携 など

ウ. 3月実施内容

- ・令和5年度振り返り：実施内容の良かった点や要望を協議、来年度に向けて整理
- ・サビ管相談合同意見交換会（3月11日実施）

60名参加があり、相談支援専門員作成のアセスメント情報およびサービス等利用計画から個別支援計画を作成

エ. 4月実施内容

- ・自己紹介（早島町や玉野市からも参加、主任相談支援専門員が7名参加）
- ・令和6年度の年間計画について
- ・日中支援型の評価が4事業所になる件について
- ・A型問題について

(4) 広報部会 (第2回曜日15時) 4月16日実施

ア. 新年度メンバー自己紹介

イ. えーんじゃねっと広報用カード・ポスターの配布場所の確認

ウ. 事業所情報の掲載については、昨年同様メールを活用

エ. A型問題について

- ・A型からB型への変更、A型廃止を周知することを検討
- ・事業者指導課の一覧表では把握できない部分があり、障害福祉課と相談したい

オ. アクセス数減少について

- ・7月で積算数が止まっていたことが原因 単純計算では増加していることが判明

(5) 福祉サービス部会 (第4火曜日PM)

ア. 実施日:1月31日、2月27日、3月26日

イ. 実施内容

- ・GH評価票の質問内容等の見直し:事業者指導課HPに新しいものを掲載
- ・B型情報交換会(2月10日実施):アンケート結果(別紙)は概ね好評

ウ. 次回:5月23日13:30~ 福祉交流プラザ旭東

(6) 教育部会 3月13日実施

ア. 移行支援会議の振り返り

- ・R6年は例年通りの日程で予定(入試後の1月27日の週以降)
- ・時間は20分/1人であり、30分必要という声は把握しているが日程的には厳しい(対応)困難なケースは別の時間で調整する
- ・既に相談支援事業所と契約している児童についても会議は実施する(理由)生徒にとっての会議の意味および福祉事務所での開催のメリットを加味

イ. 地域部会からの意見

・学校開催(一般就労系)の会議の場合、相談支援事業所は会議の直前に面識のない生徒に対する参加要請があり困惑した

(対応)令和6年度は相談支援機能強化事業所に予告して実施する

- ・重度判定問題 本人家族への説明について

(東支援学校)

- ・高等部2年 12月就職説明会で生徒保護者に説明

- ・高等部3年 5月に就職登録会でハローワークからも説明

(瀬戸支援学校)

- ・障害者職業センターなどで説明を受ける

- ・保護者間で重度判定の間違った情報「重度判定は就職できない」が流れている

- (課題) 正しい情報の伝え方：学校は重度かどうかの結果は分からない(自宅に郵送)
- ・相談支援専門員と市立学校間での情報共有に関して(問題：個人情報保護で断られる)
- (意見) 保護者から学校に「相談支援専門員から連絡がある」と一報があるとスムーズ
- 障害福祉課が教育委員会と連携がとれるよう進めている

ウ. 教育と福祉の連携を進めるための取り組み

- ・フクセツの学齢期版がほしい(日中一時支援・放課後デイ・短期入所等の探し方や料金)
- ・2年ぶりに開催した座談会(2月22日開催)：好評
- ・ゴールは特別支援学校の子供に限らず岡山市に在籍するすべての児童に対して教育と福祉が連携した取り組みが充実すること

(7) 就労支援部会

ア. コア会議(2月16日)および全体会議(3月15日)の内容

- ・重度判定問題(地域部会・教育部会とも共有)
- (対応) 職業センター、ハローワークからも支援者や家族への説明をより一層実施する
- ・職業センターのジョブコーチ依頼件数が減少(希望者がいれば活用してほしい)
 - ・就業生活支援センターより、法定雇用率の引き上げにより企業からの問い合わせ多い
 - ・A型事業所より事業運営に悩む声がある(報酬改定・物価高・社会保険の適用など)

イ. 全体会議(4月19日)

- ・年間スケジュール確認
- ・A型問題に関して、地域部会・就労移行支援事業所・行政窓口から情報共有

ウ. 社会への一歩フェス(2月17日開催) 参加者：32名

- ・障害の有無に関わらず、就労への不安・支援を求めている本人家族からの相談ブース開設
- ・個別相談では相談先たどり着きチャートを活用
- ・寸劇により、支援機関の支援内容を分かりやすく普及

(8) 精神保健福祉部会

ア. 3月21日実施内容

- ・8050問題に関する課題の整理を2年間かけて実施
- ・今後は課題を地域包括支援センターや保健センターにフィードバックする
- ・平成29年度から取り組んできた4つの柱・重点項目(①発達障害者の理解、②クリニックとの連携、③保健師との連携、④医療と地域の情報共有)の見直しに関する協議

イ. 4月19日実施内容

- ・構成員の変更
医療：岡山県精神科医療センター → 慈圭病院
地域：南西地域部会内での担当者変更
- ・R6年度の部会活動について(3月21日の内容を中心に実施予定)

- ・地域精神保健福祉連絡会全体会（5月31日）の発表内容を協議
- ・精神保健福祉法の一部改正（入院形態、保護者制度、市長同意制度など）があり、大きい変化の年だが、関係機関が連携し入院時から地域に戻ることを念頭に活動を実施する

（9）相談支援部会

ア. 2月28日実施内容

- ・令和5年度計画相談研修会で取り扱うグループワークでの事例の検討
- ・A型問題の状況共有およびB型事業所利用の際の就労アセスメントの取り扱いについて
- ・障害児相談支援での行政窓口対応について
- ・就労継続支援B型事業所における65歳以降の利用者に関する事業所の意見書について
- ・主任相談支援研修および相談支援都道府県職員研修の共有

イ. 第2回相談支援研修会（3月12日）

- ・テーマ：サービス利用開始までの道
- ・参加者：70名（相談支援事業所、行政）
- ・内容：講演（基幹相談支援センター村上センター長）およびグループワーク

ウ. 3月27日実施内容

- ・第2回相談支援研修会の出席者アンケート結果の分析：概ね好評
- ・就労継続支援A型からB型に移行する際の就労アセスメントについて
- ・相談支援研修会に関する地域部会からの反応（他の相談支援専門員の顔が分かる、地域課題が分かる）
- ・次回4月24日実施予定

（10）こども支援部会

ア. 3月6日実施内容

- ・令和5年度活動の振り返りおよび地域課題の抽出について

イ. コアメンバー会議（市内児童発達支援センター5か所＋ひまわりケアステーション）

- ・5月17日の研修内容の協議 テーマ「相談支援専門員とつながろう」
（背景）セルフプラン利用者への対応の苦慮 相談支援専門員と顔が見える関係構築
個別支援計画を相談支援事業所へ交付義務
- ・報酬改定、家族支援、支援プログラムの公表、研修（年6回）大卒について協議

（11）障害福祉計画WG

- ・昨年は障害福祉計画策定年であり、関係機関の協力によって完成
- ・岡山市のホームページに掲載予定

(12) 医療的ケア児支援WG

- ・令和6年度も年2回を実施予定（第1回を7月予定）

4. 行政機関より

ア. 主任相談支援専門員配置加算について

（障害福祉課）

- ・相談支援機能強化等事業所は加算（1）の届け出があった場合、受理することを事業者指導課と共有

（基幹相談支援センター）

- ・今回の報酬改定では、加算等を市町村と協議して認められる案件が増加している
- ・主任相談支援専門員配置加算に求められる役割や具体的な動きについては、主任相談支援専門員の連絡会で協議していく

イ. 精神科病院の虐待通報の義務化

- ・精神保健福祉法改正に伴い精神科病院も虐待通報の対象になる
- ・窓口は保健管理課（日中時間帯）

5. 協議事項

(1) 令和6年度第1回岡山市障害者自立支援協議会全体会について

- ・内容：R5年度活動報告と決算
- ・日時：6月27日（木）14：00 予定
- ・場所：未定（後日、ウェルポートなださき かしの木ホールと決定）

(2) 岡山市障害者自立支援協議会フォーラムについて

ア. 3月29日会議内容

- ・日時：1月25日（土）午後
- ・場所：西大寺緑化公園・百花プラザ
- ・内容：各地域部会から案 ①災害（地震）関係 ②合理的配慮関係 ③地域共生社会関係

イ. 内容について、運営会議参加者は②合理的配慮関係が多数の関心があった

(3) その他

（基幹相談支援センター）

ア. 岡山県相談支援従事者研修の日程について

イ. 日中支援型GHの新規事業所について

- ・県外の事業所が東区に作るという相談を受けたが、打ち合わせはキャンセルになった

6. 閉会あいさつ

(基幹相談支援センター 村上センター長)

今回は全体会になります。1年間の振り返りや決算を行う場になり、構成メンバーからも意見交換やお声をいただくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。

(中山副会長)

この運営会議のメンバーも新たな顔も見えました。今年度も協議会では地域の課題解決に向けてやっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。